

丸太調達から製材、プレカットまで一貫した生産体制で、品質の確かな地域材を住宅・非住宅建築に安定供給。



地域材生産の中核となる製材工場

どんな事業をされていますか？

1909年の創業以来、地域材の製材業を中心に展開してきた。主力となる製材品は、住宅用建築材で、構造材から下地材、造作材までを一貫して生産している。丸太の調達は、主に当社の山林部から独立した(有)ヤナザイから大井川流域材を仕入れ、年間約7,000㎡の丸太を消費し、地域材を安定的供給している。平成初期に、プレカット事業を開始し、製材と合わせて住宅建築に必要な加工を自社で完結できるようにした。また、小売部門では、自社製品に加え、集成材や外国産材も供給し、顧客の要望に応じた柔軟な供給体制を築いている。事業比率は、売上ベースで製材が約75%、プレカットおよび小売が約25%であり、顧客は、地域工務店、流通業者が60%、大手住宅会社が40%となっている。



100年以上の社歴を持つ製材所



木材の循環利用を実践する社有林



細かな加工需要に対応するプレカット

事業の特長や強みは何ですか？

丸太調達から製材、プレカットまでを一貫して行う生産体制を強みとしている。丸太調達では、(有)ヤナザイとの連携により、特殊な寸法や長尺材、化粧材など多様な需要に対応することができる。また、良質な丸太が多く調達できることから、造作材として使える材も多く、多品種の製材品の生産が可能である。製材からプレカットまで自社で対応することにより、顧客と化粧材の見せ方を打ち合わせしながら加工を進めるなどの細かな対応をすることができる。地域材の品質を確保しながら、必要な材を適切な時期に届けることができる一貫生産体制は、地元の工務店から高い評価をいただいている。

代表的な製品、サービス、設備などは？

当社は、地域材を活用した品質の確かな製材品を供給しており、大井川流域材、しずおか優良木材の認証製品のほか、JAS認証工場である大井川小径木加工事業(協)との連携により、JAS材への対応も可能である。これらの製品を使って、補助金制度の活用も積極的に行っている。建築計画に応じた最適な材料を選定しつつ、地域材の活用により補助金が受けられる提案をするなど、コスト面でのメリットも提供しながら、地域材を使いたい工務店にとっての相談相手として信頼を得ている。地元の工務店と長年の取引を通じて築いた木材供給者としての信頼が、継続的な取引に繋がり、地域材を活用した住宅建築の広がりを支える基盤となっている。

今後の展望をお聞かせください。

住宅着工数の減少を見据え、非住宅や公共物件への対応を強化する方針である。品質の確かな地域材を安定供給することができる強みを活かし、保育園や歯科医院などの非住宅で実績を重ねており、地域材であるJAS材としずおか優良木材を活用した建築需要の広がりに手応えを感じている。非住宅は建築規模が大きく、納材のタイミングや工程管理も複雑になるが、一貫した供給体制を持つ当社は、こうした調整に対応することもできる。今後は、「CoC大井川グループ」の地域製材ネットワークを活かし、地域の木材関係事業者と一緒に、公共物件などについても木材調達窓口としての役割を担っていきたい。また、関連会社と連携して素材生産から製材、販売までを行っている当社の仕事は、「伐って使って植えて育てる」という資源の循環利用を通じて、脱炭素社会の実現や、生物多様性の確保につなげることができる。伐採した材を適切に使う出口づくりに取組むことで、森林資源の持続的な活用と木材産業の発展に貢献していきたい。



地域材のJAS材を活用した保育園



大井川流域を中心とした木材産業の発展について語る
柳川雄亮 取締役

取材日：令和8年6月23日

島田木材協同組合 株式会社柳川製材所

代表取締役社長 柳川 真佐明

静岡県島田市牛尾976-4

TEL. 0547-46-1125 FAX. 0547-46-1127

Mail: info@yanagawa-yanazai.co.jp

創業：1909年7月

事業内容：建築用木材の製造・販売

従業員数：11人

年間売上高：2億9,800万円（2025年度）

許認可等：しずおか優良木材認定工場、FSC-COC認証

URL: <http://www.yanagawa-yanazai.co.jp/>



大井川流域材の丸太と製材品